

日産車体株式会社

2020 年 10 月 28 日

平塚市と電気自動車を活用した「災害連携協定」を締結

平塚市（神奈川県平塚市、市長：落合 克宏）と日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：内田 誠）、ならびに、日産車体株式会社（本社：神奈川県平塚市堤町、社長：吉村 東彦）、神奈川日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：横山 明）、株式会社日産サテリオ湘南（本社：神奈川県平塚市宮松町、社長：加山 利根夫）、日産プリンス神奈川販売株式会社（本社：神奈川県横浜市神奈川区、社長：山田 裕）の 6 者は、28 日、電気自動車を活用した「災害連携協定」を締結しました。



電気自動車を活用した「災害連携協定」の概要は、以下の通りです。

【協定の概要】

- ・ 平塚市で災害を起因とする停電が発生した際、市が指定する避難所に、日産車体および、神奈川日産自動車、日産サテリオ湘南、日産プリンス神奈川販売の店舗に配備している電気自動車(EV)「日産リーフ」を無償で貸与する。
- ・ 平塚市、日産車体、神奈川日産自動車、日産サテリオ湘南、日産プリンス神奈川販売、日産自動車の協力により電気自動車(EV)からの給電を行うことで、災害時においても継続して電力が供給できる体制を整え、避難所の円滑な運営を図り、市民の生命及び身体の安全を守る。
- ・ 平塚市および日産車体、神奈川日産自動車、日産サテリオ湘南、日産プリンス神奈川販売、日産自動車は、平常時も電気自動車(EV)の普及促進を行うほか、市のイベントで使用する電力を電気自動車(EV)から供給することで、『電気自動車(EV)の「走る蓄電池」』としての価値を市民へ積極的にアピールし、防災・環境意識向上を目指す。

平塚市では、すでに公用車として、電気自動車(EV)「日産リーフ」と商用電気自動車(商用 EV)「e-NV200」のほか、急速充電器を導入しており、今年度、電気自動車(EV)から電気を取り出す可搬型給電器を新たに 13 台導入しました。また、平塚市内の事業者向けの「電気自動車(EV)長期使用モニター」の実施に加えて、初の事業として、今月 31 日、平塚市、日産自動車、日産車体等による「エコドライブ講習会」の実施を予定しており、今後も更なる EV 普及・促進に向けて取り組んでいきます。

平塚市と日産自動車グループは、この協定締結を機に、防災対策を更に強化し、電気自動車(EV)を活用した、環境に優しく、災害に強いまちづくりを推進していきます。そして、電気自動車(EV)の普及を通じた地域課題の解決や SDGs 達成に向けて、更に連携を強化してまいります。

本リリースは、下記の日産自動車サイトにも掲載されております。

・日産自動車掲載サイト:

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/release-e1f616019d7ee426949edb5b6d1fcf46-201028-01-j>

以 上